

平成30年度 第2回 米子市図書館協議会・会議録（概要）

○日 時 平成30年11月30日（金曜日） 午後2時から午後3時50分

○場 所 米子市立図書館 研修室3・4（2階）

○出席者 委 員

渡邊 眞子、辻田 賢次、上村 一也、本池 弘昭、卜蔵 久子、西村 頼枝、
山本 明子、宇田川 恵理、高橋 素子、野川 貴代子

事務局

（米子市立図書館）菅原館長、（一財）米子市文化財団 佐藤主査
（米子市教育委員会）片岡生涯学習課長、安田課長補佐、石倉主任

○欠席者 なし

○傍聴者 4名

○報道関係 なし

【協議会の概要】

事務局

定刻になりましたので、平成30年度第2回米子市図書館協議会を開催させていただきます。
はじめに会長からご挨拶をお願いします。

渡邊会長

前回の協議会で協議会風景の写真を撮らせていただきましたが、新潟県の長岡市であった全国都市問題会議の冊子に、公共図書館のあり方としての文章とともに写真を掲載させていただきました。
また、全国図書館大会にも参加しまして、図書館協議会について報告をさせていただきました。
その中で、米子市図書館協議会は、公募委員の制度を含め、全国の中でも開かれたものであると報告させていただきました。
今後も皆様のご協力をよろしくお願いします。

事務局

これから会議に入りますが、ここからの議事の進行につきましては、渡邊会長さんをお願いいたします。

渡邊会長

それでは、内容に沿いまして1番目の「平成30年度上半期事業報告について」、図書館長からお願いいたします。

菅原館長

そうしますと平成30年度上半期の事業について、報告させていただきます。
資料1をご覧ください。
平成30年度の上半期の事業実績の総括としては、157回開催し5,223人の参加をいただきました。
平成29年度1年間の実績と比較いたしますと、平成29年度は275回、7,753人の参加がありましたので、平成30年度上半期の実施率は、回数ベースで57.1%、参加人数ベースで67.4%となっております。
この中で、上半期での新規事業について、説明させていただきます。

資料1の2ページをお開きください。子どもの読書関係の中で、「しまだようこさん親子講演会」を8月26日に開催しまして、親子96名の参加を得たところでございます。

内容としては、しまだようこさんのオリジナルの絵本と、しまださん作詞作曲の歌でスタートし、その後引き続いて、子どもたちがオリジナルで絵本を創るというワークショップを開催いたしました。

次に、その下の「足立茂美さん講演会」を10月21日に開催し、48名の方に参加していただきました。「読み聞かせあれこれ」として講演していただき、読み聞かせの考え方は、読み手は子どもたちと共有する姿勢、子どもたちは読んでくれた人との記憶とともに、絵本の世界を楽しんで大きくなっていくと講演されました。

次に、「鳥取県ジュニア司書養成講座」を8月1日2日に開催し、多数の応募の中、抽選で12名の子どもたちに受講していただきました。

内容としては、子どもたちに図書館の良さや機能を、実体験を通じて知ってもらい、情報活動能力を習得してもらうものでございます。

なお、修了者は鳥取県ジュニア司書に認定されました。

次に一般の部のうち、「オレンジネットワークとっとりリレー講演会」を県立図書館との共催により、東部・中部・西部でのリレー形式で、10月6日に開催し、53名の方が参加されました。

講師は、認知症の人と家族の会鳥取県支部代表の吉野立さんに、認知症の人にやさしいまちづくりを講演していただきました。

また、本市図書館の佐藤主査が本市図書館における高齢者サービスへの取組について、報告をいたしました。

次に、「大山隠岐国立公園の魅力講演会」を7月22日に、国立公園管理事務所長の中山直樹さんに講演していただき、48名が参加されました。

当日は親子講演会として、クイズ形式で始まり、世界の国立公園と大山との比較などを通して、大山の魅力を発信していただきました。

以上、上半期事業の報告でございます。

渡邊会長

皆さん、ご質問等ありますでしょうか。

ト蔵委員

ブックブスタート支援事業と健康フェスティバルの参加者数が載っていませんが、合計の人数には入っていませんか。

菅原館長

これらの事業の所管課は、健康対策課でして、こちらでは把握できていないのが実情でございます。当然、合計人数には入れておりません。

ト蔵委員

これらも図書館の事業の一つだと思いますし、健康対策課でも大体の参加人数をつかんでいると思いますので、計上されたほうがよいと思います。

高橋委員

これは、厳密には図書館の事業ではないのではないのでしょうか。

菅原館長

ご指摘のとおり、これらは厳密には図書館独自の事業ではありませんが、実際に図書館職員が携わっておりますので、人数を把握した上で、今後は括弧書きで表示したいと思います。

渡邊会長

ありがとうございました。他にないようでしたら、次の「館内アンケート結果について」説明をお願いいたします。

菅原館長

館内アンケート結果の概要について、説明させていただきます。

資料2-1と資料2-2をあわせてご覧ください。

資料2-2がアンケートの集計結果でございます、資料2-1がアンケート結果に係る分析・総括したものでございます。

資料2-1の総括に沿って説明させていただきます。

まず、今回の館内アンケート実施の目的ですが、利用者の意見の集約と図書館利用の現状を把握することで、更なる図書館サービスの向上を目指すために実施するものでございます。

実施期間は、昨年同様、本年10月26日から11月8日までの14日間で、実施方法は、カウンター等の館内にアンケート用紙を置き、自由に回答していただく方式といたしました。

その結果、155人の方から回答を得たところでございます。

このアンケート調査は、平成26年度から毎年実施しているところですが、年度によって回答数にバラツキがあるところから、各年度との比較をする場合には、実数での比較ではなく、構成割合での比較分析をしたものでございます。

分析及び検証としてですが、まず1番目の「利用者の属性」について記しています。

資料2-2の1ページをあわせてご覧いただきたいと思いますが、アンケートの回答としては、利用者の半数が女性であり、50歳代以上が6割から7割を占めています。

また、8割以上が米子市在住であるものの、市外からの利用者が1割を占めており、利用日を決めていない方や月に数回若しくは週1回程度、また、午前中の利用者が多い傾向となっております。

来館される目的ですが、7割以上の方が「資料の貸出・返却」と答えており、図書館の本来の役割を果たしているともいえ、また、本や新聞・雑誌を読むために来館されている方も多いところから、読書環境に満足されているとも考えられます。

次に、図書館サービスに対する評価でございますが、資料2-2の2ページとあわせてご覧ください。まず、「利用時間に対する評価」ですが、これはリニューアルオープンの際、平日の開館時間及び閉館時間をそれぞれ1時間延長したことに対する満足度を調査したものでございます。

これに対し、8割以上の方が現行の開館時間について、肯定的に捉えられている結果となりました。

その一方で、土日祝日の開館時間の延長を求める声がありますが、これについては、人員体制、対費用効果を含めた様々な検討が必要であると考えております。

次の「スタッフに対する満足度」でございますが、以前から一貫して高い評価を得ているところではありますが、自由意見にもありますように、一部スタッフの対応の悪さを指摘する声も揚がっていることを真摯に受け止め、更なる接遇の向上に努めてまいりたいと思います。

次に「図書の種類・冊数」についてですが、資料2-2の3ページもお開きください。

この項目は他の項目と比べて、満足度が低くなっている項目で、明確に不満を表す割合が2割前後あります。

また、資料2-2の6ページに記載しております「今後の図書館サービス」の設問の中でも、本や雑誌・新聞の充実を求める声が半数以上あるところから、今後も選書の充実と予算の確保により、図書の充実を図っていく必要があると考えております。

その他の図書館サービスへの評価につきましては、いずれも9割前後の方が高い評価をされ、高い満足度を示されております。

しかしながら、自由意見の中でも設備関係をはじめ、様々な具体的な要望があるところから、できるところから実施していく必要があると考えております。

また、SNSの利用状況については、情報ツールとしての役割を期待しているものの、依然として低い利用状況のため、引き続き周知を図っていく必要があります。

次に総合的な満足度についてですが、資料2-2の4ページをご覧ください。

これまでの設問を含め、総合的に見た満足度は8割以上の方が満足されているという結果となりました。しかしながら、一方では不満を持っている方々も存在しているところから、この結果を真摯に受け止め、良いところは伸ばしながら、改善できるところは改善してまいりたいと思います。

最後に、今後の図書館サービスに対する期待についてですが、資料2-2の6ページに記載しておりますとおり、「本や雑誌・新聞の充実」を望む声が半数以上と高く、次に「大人向けの催し物」「本や調べものに関する相談」の順となっております。

特に図書の充実につきましては、図書の種類・冊数に対する満足度の低さからも伺えるように、図書の充実を要望される声は多いところから、引き続き予算の確保に努めてまいりたいと考えております。説明は以上でございます。

渡邊会長

ありがとうございます。ご意見、それから質問等ございましたら遠慮なくお願いいたします。

最初に、図書カードの登録者数を教えてください。

佐藤主査

登録者数ですが、76,092人の登録があります。

渡邊会長

また、併せまして、1日あたりの利用者数はどのくらいでしょうか。

菅原館長

昨年度の実績で言いますと、一日あたり1,000人前後の利用者数でございます。

渡邊会長

毎年のことですが、このアンケートですが、若者向けのものがないだろうかと考えています。

アンケート結果についての質問等がありますか。

卜藏委員

無回答の方が多いと感じますが、裏面の設問に気がつかれない方もあったのではないのでしょうか。

菅原館長

中には、裏面に気がつかれなかった方もあったのではないかと思いますし、質問の意図するところが伝わらなかった方もおられたのではないかと思います。

渡邊会長

昨年度もありましたが、図書館でのWifi環境の整備については、どうでしょうか。

菅原館長

現在のところ本図書館でのWifi環境の整備については、考えておりません。

色々な考え方があるとは思いますが、本来、図書館は図書や資料によって調べるところだと思います。

また、米子市における公共施設を見ても、Wifi環境が整っているところはございません。

渡邊会長

自由意見の中でもインターネット環境の整備をしてもらいたいとの意見もありますし、調べ学習をする上でも Wifi 環境が整っていることは、便利だと考えます。

ト藏委員

20代30代の子育てのお母さん方に、どうやってアンケート調査に協力してもらえるのかが課題だと思いますが、今回のアンケートは館内だけのアンケート調査だったのでしょうか。

菅原館長

図書館内だけでアンケート用紙を配布しました。

具体的には貸出の際に、カウンターでアンケート用紙を配布し、調査に協力をお願いしましたが、回答を得られなかったことだと思います。

ト藏委員

若い方の意見も知りたいので、調査をどうやってお願いするかですが、館内での配布だけにこだわらず協力してもらう方法はなかったのでしょうか。

菅原館長

調査用紙を配布したのは図書館内だけであって、それをご自宅等で書かれていただく方法もあると思います。

高橋委員

アンケート調査期間が2週間というのは、短いのではないのでしょうか。

個人的には、時期にとらわれず1ヶ月間ぐらい調査してもよいのではないのでしょうか。

上村委員

開館時間についてですが、現在、9時から19時までです。

そのような中で、職員さんたちは本当によくやっているなと感じます。

土日の開館時間のことが出ましたが、私は、9時から17時まででもありだと思います。

実際、土日の閉館間際の館内を見ても利用者はそんなにいないような気がするからです。

また、人気作家の本はネットの予約でいっぱいですので、複本を用意されていると思いますが、そのうち1冊だけは館内での貸出用にしようかと助かります。

佐藤主査

当館では、貸出の予約の順番については重視しておりますので、ネット予約用の本と館内での貸出用の本を別建てで貸出するのは、利用者の方にとって不公平になると思います。

上村委員

ネットで予約している人は、いつ借りられるのか分かりますし、図書館に来て予約する人は、その都度図書館に足を運ぶこととなるのは、如何なものかと思います。

西村委員

自由意見の中に、椅子がもっとあればよいとの意見がありますが、昔の城山のところにあった図書館を思い出しました。

そこでは勉強したり本を読んだり、自分の居場所としてのよい空間であったと思いますので、自由意見にもありますことは同感です。

ト藏委員

私も自由意見のとおり、椅子が少ないと思っております。

特に昼休憩になると閲覧場所がいっぱいで座るところがありません。

多目的研修室などを開放しているのなら、もっとアナウンスした方がいいと思います。

高橋委員

図書の充実を求める意見に関連して、図書館の司書の研修について、どのような状況でしょうか。

佐藤主査

司書の研修についてですが、県立図書館が実施します専門講座を受講しております。

また、年1回、中四国地方で開催されます専門講座も受講しております。

高橋委員

自由意見で思想、哲学の棚の充実を求める声がありますが、このあたりは如何でしょうか。

佐藤主査

大人のための100選をコーナーとして設置しておりますほか、教養書のコーナーとして、講談社、新潮社の選書シリーズの本を並べております。

本池委員

アンケートの目的が、利用者の意見の集約と利用の現状把握であると思いますが、中でも複数の同じ意見・要望から優先的に対応していくことになろうかと思えます。

こうした中で、このアンケート調査を見て、項目が多すぎる感じがしました。

そのため、調査項目を絞って、時期や内容を分けて実施することもよいのではないかと思います。

また、リニューアル以降、色々な要望に対して実施してきたことがあると思えますので、それを公表する形でアピールすれば、アンケートの増に繋がるのではないかと思います。

菅原館長

今ご指摘のありました調査項目についてですが、確かにリニューアル当時の設問がそのままとなっているものもありますし、経年で把握すべき項目もありますので、次回からはもう少し簡略化した上で、精査していきたいと思えます。

また、改善点のアピールができるものがあれば、やっていきたいと思えます。

渡邊会長

委員から意見が出てますように、アンケート調査の実施時期、実施期間などを再検討していただければと思えます。

辻田委員

アンケート用紙は、どういう形で利用者に渡ったのでしょうか。

菅原館長

1階と2階の机に用紙を置いて、自由に回答していただきますほか、カウンターにおいて司書が手渡しをしてご協力をお願いしたところでございます。

辻田委員

1日の利用者が1,000人前後、2週間の調査期間を考えれば、やはり、この回答数は少ないのではないかと思います。

増加に繋がる工夫をお願いしたいと思えます。

ト藏委員

このアンケート結果については、結果を館内掲示するなどして情報発信していけば、アンケートに協力していただいた方も含めて、これからも協力していただける方も多くなると思えます。

宇田川委員

10代20代の回答数が数パーセントしかないのは、若者たちの意見が反映されていないと思います。若者には紙ベースでの回答は難しいのではないかと、将来、ネット環境でのアンケートも検討されては如何かと思います。

また、若者向けのアンケート調査を実施してみるのもよいのではないかと思います。

菅原館長

今回の館内アンケートの性質ですが、館内の利用者を対象としたもので、方針のようなものを決定する正式な意識調査とは性格を異にするものと考えております。

したがって、色々なこと決定していく材料としては物足りないものとなるのかもしれませんが。

正式なものとするためには、調査の対象、年代、居住地などを無作為抽出したうえで実施すべきものであると考えます。

しかしながら、各委員からご指摘のあったように、利用者の意見を集約し現状を把握するためには、有効であると考えますので、実施期間・方法等を検討してまいりたいと思います。

渡邊会長

市民の要望意見を名前を書いて出す制度があったと思いますが。

片岡課長

それは、市政提案制度でございまして、現在でもやっております。

その際、市として回答する必要がありますので、提案者は住所氏名を記載の上、出していただくこととしております。

渡邊会長

それでは次に、平成31年度の事業計画についての説明をお願いします。

菅原館長

平成31年度事業計画について説明します。資料3をご覧ください。

平成31年度の図書館事業につきましては、図書館運営方針に沿って各事業を展開することとしております。

現在、県立図書館ほか関係機関の事業が未確定の状況のため、具体的な新規事業をお示しできないことを、ご了承いただきたいと思います。

したがって、本日、各委員からのご意見を参考に具体的な新規事業について、検討をして参りたいと思います。

事業計画をについては、基本的には引き続き昨年度の事業の精度を上げながら、継続していくこととしております。

運営方針には、7つの柱がありますが、その柱がそれぞれ連携し合えるようにバランスよく事業を進めてまいります。

現時点で確定していることは、今年度末で図書館システムのリース期間が終了するため、現在、新規のシステムの更新に向けて作業中ですが、年度末からバージョンアップして図書館システムを更新することとしております。

その際、利用者の皆さんにとっても使い勝手がよく、使いやすいシステムやホームページにリニューアルしてまいります。

また、平成31年度の事業実施に向けた考え方ですが、本来、図書館の存在意義や必要性は、図書館法をはじめ、設置及び運営上の望ましい基準で示されております。

したがって、図書館の役割は、住民の読書支援が基本であると考えます。

しかしながら、最近の人々の学習への姿勢としては、人々は自ら学ぶものを選び、それを吸収しながら、自分の考えを作っていく傾向があるといえます。

その意味で、図書館は知を自ら獲得するための社会装置であり、人々の知を獲得するための支援を行うことが使命であると考えます。

従来からも、本市図書館は「生涯学習の拠点」「地域の知の拠点」としての役割を果たしてきたと考えますが、これからも「役に立つ図書館」として、住民の様々な課題解決への支援を行うために、住民ニーズにあった資料の収集をしていく必要があります。

そのためにも、それらを裏付ける継続した予算の確保と、併せて、レファレンスサービスの質の向上に向けた職員の資質向上を図ってまいりたいと思います。

渡邊会長

質問、ご意見ございますでしょうか。

上村委員

今年度のアンケートの結果が、来年度の事業に反映されるべきであると考えます。

この中で、満足度が8割を越えている項目については、議論の余地はないと思いますが、不満足項目が2桁を超えているものについては、何らかの対応をしていく必要があると考えます。

要望が多かった図書の種類や冊数、また、開館時間の問題についても、今後の検討が必要となってきます。

菅原館長

アンケートの回答数が少ないというご指摘もありますが、過去のデータを見るとほぼ同じ傾向にあります。

これらの結果を踏まえた上で、来年度の事業についても検討してまいりたいと思います。

また、図書の充実についても、これから予算要求等が行われますが、予算の確保に向けた働きかけを行ってまいりたいと思いますし、開館時間についても毎年の要望にも揚がっておりますので、検討をしていきたいと思います。

渡邊会長

先日、全国大会に出席しましたが、米子市の図書館協議会は年に2回実施ですが、全国には毎月行っているところもあるそうです。

年4回開催のところが多いようですが、報酬の関係もありますが、開催回数を増やしてみたらいいんじゃないかと、個人的には考えています。

ト藏委員

報酬額はそのままで、開催回数だけ増やすのはいいと思います。

高橋委員

来年度の事業として、子どもの講座でも、大人の講座でも、毎年行える連続講座を実施してもらいたいと思います。

ト藏委員

連続講座をすることで、子どもの成長に合わせたものとして、とても有意義になると思います。特に市内には子育て支援センターがありますので、そこに前講座でやってもらったら効果があると思います。

宇田川委員

県立図書館での研修で市民のボランティアを有効活用している例がありましたので、そういうケースを参考にされたらよいと思います。

また、アンケート結果でも図書の充実の要望が多くありましたが、反対に揚がってこない声をどうやって掬っていくのかも大切だと思います。

本池委員

事業をするにあたって、図書館単独で実施することが困難なケースもあると思いますので、他部局と連携した事業というのもよいのではないかと思います。

西村委員

ブックスタート事業は、色々な経緯があり現在に至っていると思いますが、健康対策課との連携で参加人数等の把握をするなど、事業の継続をしてもらいたいと思います。

渡邊会長

「だっこでえほん」の改定予定はありますか。

佐藤主査

平成28年度に改定しております。4000部印刷しております。

宇田川委員

2階の市民ギャラリーのアンケートで「分からない」という回答が多かったですが、これを受けて、今後の事業計画を考えられますか。

菅原館長

市民ギャラリーについて質問の意図が、おそらく図書館のリニューアル当時を前提とした設問だったと思いますので、回答される方が戸惑われたのではないかと考えます。

今後については、設問について修正も含め検討していきたいと思います。

渡邊会長

学校や議員、団体の視察を受け入れておられますが、リニューアル当時、協議会委員を館内案内してもらいましたが、一般市民を募集しての館内案内のようなことができれば、市民ギャラリーの活用なども理解されるものと考えます。

また、平成31年度の事業計画が正式に固まるのはいつごろでしょうか。

菅原館長

当然、今年度中に固めることにしておりますが、委員の皆さん方には来年の第1回目の協議会の場で、お示しできると思います。

宇田川委員

現在の有料データベースの利用数と内容は何でしょうか。

佐藤主査

現在、ニーナ、ルーラル図書館、官報、日本海新聞のデータベースの内容となっており、2階カウンターに設置しているパソコンで閲覧してもらっています。

後は、図書館システムの更新にあわせ、利用者が直接使用できる専用の端末を1台設置することとしております。

渡邊会長

他にないようですので、「その他」について報告をお願いします。

菅原館長

前回の協議会の中でも触れましたが、来年の2月末をもって、現在使用中の図書館システムのリース期間が終了いたします。

そのため、3月1日から新規の図書館システムを稼働させるため、現在作業中ではありますが、その際、データの移行、機器の入れ替え、操作手順の確認、新システムの正常な稼働の確認などのため、当初は10日から2週間程度の臨時休館を予定しておりました。

その後、システム業者との調整により、4日程度の臨時休館で済むこととなりました。

つきましては、委員の皆様方をはじめ、利用者の皆さん方には大変ご迷惑をおかけしますが、2月25日から28日までの4日間、臨時休館をし、万全の態勢で新システムの稼働に向かいたいと思いますので、ご理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

渡邊会長

ありがとうございます。それでは、時間もまいりましたので、これで閉会といたします。本日は皆さんありがとうございました。

以上